



会社名 ムラキ株式会社
代表者名 代表取締役社長 柳田 任俊
(コード番号：7477 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役総務人事部長 加瀬 光二
電話番号 042-357-5600

に対する共同協調行為等に関する質問書の送付のお知らせ

当社は、2026年6月23日付け「当社株式の大量買付行為への対応方針（買収への対応方針）」に関する共同協調行為等の認定に向けた検討の開始および独立委員会に対する諮問に関するお知らせ」でお知らせしましたとおり、2026年3月31日時点の株主名簿に記載された当社の株主である株式会社イクヨ（TYO:7273。代表取締役社長：孫峰。以下「イクヨ社」といいます。）およびBlue Goats Capital株式会社（代表取締役：青柳和洋。以下「BGC社」といい、イクヨ社とBGC社を合わせて、以下「本特定株主ら」といいます。なお、2026年3月31日時点の当社の株主名簿上、本特定株主らの株券等保有割合の合計は20%を超えております。）の間において、当社が2025年4月25日開催の当社取締役会においてその導入を決議し、同年6月20日開催の当社第67期定時株主総会においてご承認いただいた「当社株式の大量買付行為への対応方針（買収への対応方針）」（以下「本買収対応方針」といいます。）に定める「当該特定の保有者と当該他の保有者との間にその一方が他方を実質的に支配しもしくはそれらの者が共同ないし協調して行動する関係を樹立するあらゆる行為（ただし、当社が発行者である株券等につき当該特定の保有者と当該他の保有者の株券等保有割合の合計が20%以上になるような場合に限り、）であると合理的に判断される行為」（以下「共同協調行為等」といいます。）に該当する行為が行われている疑いがあることから、2026年6月23日開催の当社取締役会において、①本特定株主らによる共同協調行為等の存否に関する判断に向けた検討手続を開始することを決議するとともに、②本買収対応方針に基づき当社取締役会から独立した組織として同年4月25日開催の当社取締役会の決議に基づき設置された独立委員会（以下「本独立委員会」といいます。）に対して、本特定株主らによる共同協調行為等が行われていると認定することの是非について諮問する旨を決議いたしました。

そこで、本独立委員会は、2026年7月17日に、本特定株主らに対し、本特定株主らによる共同協調行為等が行われていると認定することの是非に関する検討の参考とすべく、「質問書」を内容証明郵便で送付いたしましたので、お知らせいたします。（下記 別紙1、2）

今後も、本件に関する事実関係、本独立委員会による検討状況および当社の今後の対応につきましては、透明性を確保する観点から、当社ニュースサイトにおいて随時開示を行ってまいります。

当社は引き続き、共同協調行為等に対して適切に対応し、当社の企業価値ひいては株主共同の利益の確保・向上に努めてまいります。

以上

(別紙1) 株式会社イクヨに対する質問書

2026年7月17日

〒107-0052

東京都港区赤坂 4-9-25

新東洋赤坂ビル 2 階

株式会社イクヨ

代表取締役 孫 峰 様

〒206-0011

東京都多摩市関戸 2-24-27

三ツ木聖蹟桜ヶ丘ビル 5 階

ムラキ株式会社 独立委員会

委員長 湊 信 明

委 員 川 口 幸 信

委 員 立 山 純 子

質 問 書

前略 当社独立委員会（以下「当委員会」といいます。）は、当社取締役会の諮問を受け、株式会社イクヨ（以下「貴社」又は「イクヨ社」といいます。）及びBlue Goats Capital 株式会社（以下「BGC 社」といい、イクヨ社と BGC 社を併せて「本特定株主ら」といいます。）によって、当社が 2025 年 4 月 25 日開催の当社取締役会においてその導入を決議し、同年 6 月 20 日開催の当社第 67 回定時株主総会で承認された「当社株式の大量買付行為への対応方針（買収への対応方針）」（以下「本買収対応方針」といいます。）に定める「当該特定の保有者と当該他の保有者との間にその一方が他方を実質的に支配もしくはそれらの者が共同ないし協調して行動する関係を樹立するあらゆる行為（ただし、当社が発行者である株券等につき当該特定の保有者と当該他の保有者の株券等保有割合の合計が 20%以上になるような場合に限り。）であると合理的に判断される行為」が行われていると認定することの是非について検討しておりますが（以下、かかる検討を「本検討」といいます。）、本検討の参考とするため、別紙の質問事項についてご回答いただきますようお願い申し上げます。本検討を速やかに進めるため、2026 年 7 月 27 日までにご回答ください。

なお、以下の点についてあらかじめご了承、ご留意ください。

- (1) 当委員会は本検討を継続しており、今後、追加のご質問が生じる可能性があり、又はご回答いただいた内容に対して更にご質問をさせていただく可能性がございます。
- (2) 定量的な観点から回答が可能な質問については、可能な限り具体的な数値を用いてご回答ください。

- (3) 「●●グループ」とは、当該会社、並びに、当該会社の国内外の主要な株主又は出資者（直接であるか又は間接であるかを問いません。）、子会社・関連会社、共同保有者・特別関係者を含み、該当する者がファンドの場合には、その各組員、出資者その他の構成員及び投資に関する助言を継続的に行っている者を含みます。
- (4) 本書に対するご回答は公表させていただく可能性がございます。

草々

(別紙)

1. 貴社グループとBGC社グループの関係について

- (1) 貴社は、2026年4月22日付で、貴社とBGC社代表取締役青柳和洋氏（以下「青柳氏」といいます。）が設立し、2023年8月まで代表取締役を務め、現在も取締役を務めるSenxeed Robotics 株式会社（以下「Senxeed Robotics 社」といいます。）との間でのロボット事業における包括的業務提携を公表しておりますが、当該業務提携に関し、以下の点について具体的にご教示ください。
 - ① 貴社に対してSenxeed Robotics 社を紹介し、又はSenxeed Robotics 社に貴社を紹介した人物又は法人
 - ② 業務提携に係る協議を開始するに至った経緯・開始時期
 - ③ 業務提携の締結に至った経緯
 - ④ 業務提携の概要及び当該業務提携と当社の事業の関係
 - ⑤ 業務提携に関する貴社と青柳氏との間の協議の有無及び内容
- (2) (1)のほかに、貴社グループ又はその役職員と、BGC社グループ（青柳氏が役員を務め、又は務めていたイグニション・ポイント株式会社、株式会社Secual、Blue Goats Asset Management 合同会社、株式会社 Pontely、株式会社 DANX、株式会社シナプス、株式会社 REaaS Technologies、Senxeed Robotics 社、株式会社 it's House、ORKA ホールディングス株式会社、Trailhead Global Holdings 株式会社、及びコーギア株式会社を含みます。以下同じです。）又はその役職員（青柳氏を含みます。）との間の資本関係、人的関係又は取引関係その他の関係（BGC社グループの現在又は過去の役職員又は株主その他の第三者を介した関係も含みます。）の有無及びこれらの関係がある場合にはその内容（第三者を介した関係がある場合には、当該第三者の名称又は氏名、所属等も含みます。）について具体的にご教示ください。
- (3) 貴社及び貴社の代表取締役である孫峰氏（以下「孫氏」といいます。）が、BGC社グループ又は青柳氏と初めて直接又は間接に接触（電子メール、電話会議、オンライン会議その他の方法を含みます。）した時期、接触の方法、接触した当事者の氏名・役職、接触の目的及び接触時のやり取りの内容について具体的にご教示ください。また、その際に、紹介者、仲介者、同席者、情報提供者その他の第三者が存在した場合には、当該第三者の氏名又は名称、所属、役職、貴社又は孫氏との関係、BGC社グループ又は青柳氏との関係、紹介又は仲介の経緯及び内容について具体的にご教示ください。
- (4) 貴社の2026年5月28日付「2026年5月20日付書簡へのご回答」によれば、貴社は、2026年4月中旬に、BGC社から、当社の企業価値向上のためには経営体制の刷新が不可欠と考えていること及びその実現には自動車部品分野で実績のある貴社の経営陣を取締役として招聘すべきであると考えていることについて連絡を受け、BGC社と話し合いの機会を持った（以下「本協議」といいます。）とのことですが、BGC社から当該連絡を受けた日時及び連絡手段、当該連絡に係るBGC社の担当者及び

貴社の連絡受領者、並びに貴社の応答時のやり取りについて具体的にご教示ください。

- (5) 本協議の内容について具体的にご教示ください（例えば、当社の企業価値向上施策、BGC 社の 2026 年 4 月 23 日付「株主提案書」（以下「BGC 社株主提案書」といいます。）若しくは貴社の 2026 年 4 月 21 日付「イクヨ提案書」（以下「イクヨ社議案提案書」といいます。）の内容、当社株式の取得若しくは譲渡、当社株主としての議決権その他の権利の行使、又は当社の経営方針・資本政策に関する方針等について協議された事実があれば、それぞれについて具体的にご教示ください。）。
- (6) BGC 社株主提案書において、当社役員候補として挙げられた貴社役職員（孫氏、田嶋邦彦氏（以下「田嶋氏」といいます。）、松本博氏、東剛史氏、高橋理沙氏、岩瀬誠氏、及び小林信虹氏）について、それぞれ以下の各事項を具体的にご教示ください。
 - ① BGC 社株主提案書において、当社の役員候補者とされた経緯（BGC 社からの打診又は貴社からの推薦の有無、これがある場合にはその日時、経緯及び打診・推薦の理由を含みます。）
 - ② BGC 社の株主提案の候補者として就任を承諾した事実の有無、これがある場合にはその日時及び経緯
 - ③ 貴社が上記各役職員に関して BGC 社に提供した情報の内容
- (7) BGC 社による 2026 年 4 月 27 日付 PRTIMES での公表文「Blue Goats Capital、ムラキ（7477）へ株主提案。成長戦略への転換と資本効率向上を提言」には、「株式会社イクヨとの連携でモビリティ変革」、「株式会社イクヨの経営陣を招聘」等といった貴社に関する記載が含まれておりますが、貴社が公表前に当該記事の内容・文案の確認を行った事実の有無、これがある場合にはその日時、経緯及び内容、並びに、当該記事に記載の「連携」について BGC 社と協議を行った事実の有無、これがある場合にはその日時、経緯及び内容について具体的にご教示ください。
- (8) BGC 社が当社株主宛に送付した 2026 年 6 月 2 日付「ムラキ株式会社第 68 回定時株主総会における会社提案議案への対応及び経営刷新提案に関する委任状勧誘のお願い」には、孫氏及び田嶋氏を当社取締役候補者とする修正動議を提出する予定であること、孫氏が当社と貴社との事業シナジー実現を主導する役割を担い、田嶋氏が当社との実務的な連携を推進すること、BGC 社の想定する当社と貴社との事業シナジーの具体的な内容の記載がございますが、これらの記載内容・文案について、貴社が事前に確認を行った事実の有無、これがある場合にはその日時、経緯及び内容について具体的にご教示ください。
- (9) 貴社の 2026 年 5 月 28 日付「2026 年 5 月 20 日付書簡へのご回答」について、その内容を事前に BGC 社に共有し、又は回答内容について BGC 社と事前に協議その他の意思連絡をした事実の有無、これがある場合にはその日時、経緯及び内容について具体的にご教示ください。

2. 貴社が MRK1 号から当社株式を取得したことについて

- (1) 貴社は、2026 年 1 月 19 日に、MRK1 号投資事業有限責任組合（以下「MRK1 号」といいます。）から当

社株式を譲渡により取得されておりますが、貴社が当該取得に関する検討を開始した時期及びその経緯、取引に際しての紹介者又は仲介者の有無、並びに紹介者又は仲介者がいる場合にはその名称又は氏名及び所属等の詳細情報、当該取得に関する MRK1 号との協議内容について具体的にご教示ください。

- (2) 貴社グループと芙蓉土地建物株式会社、GCM アセットマネジメント株式会社、MRK1 号、合同会社 CYGNUS、一般社団法人 SPE、及び江木洋介氏その他関係者（前各社の役職員を含みます。）との間の資本関係、人的関係、取引関係その他の関係（第三者を介した関係も含みます。）の有無及びこれらの関係がある場合にはその内容（第三者を介した関係がある場合には、当該第三者の名称又は氏名、所属等も含みます。）について具体的にご教示ください。

3. イクヨ社議案提案書について

- (1) イクヨ社議案提案書の内容は、BGC 社株主提案書の提案内容と類似しておりますが、貴社が、BGC 社に対し、イクヨ社議案提案書の内容・文案を共有した事実の有無及びこれがある場合にはその時期及び経緯をご教示ください。また、BGC 社が、貴社に対し、BGC 社株主提案書の内容・文案を共有した事実の有無及びこれがある場合にはその時期及び経緯を具体的にご教示ください。
- (2) 貴社グループとイクヨ社議案提案書に取締役候補として記載されている粥川善広氏とのご関係について具体的にご教示ください。
- (3) 粥川善広氏を当社取締役推薦した理由、貴社からの打診の有無及びこれがある場合にはその日時及び経緯、就任を承諾した事実の有無及びこれがある場合にはその日時及び経緯について具体的にご教示ください。
- (4) 当社の取締役候補者とされている孫氏、田嶋氏、松本博氏、東剛史氏、高橋理沙氏、岩瀬誠氏、小林信虹氏について、それぞれ、貴社グループにおける担当部署、担当する具体的な業務・事業を具体的にご教示ください。
- (5) イクヨ社議案提案書では、本買収対応方針の導入後に当社株式の取引量の著しい低下により東証の上場維持基準に抵触するおそれがある旨の記載がありますが、当該主張の根拠となるデータをご教示ください。

4. 貴社グループと Synca 社等の関係について

- (1) 貴社グループ又はその役職員と、合同会社 Synca（以下「Synca 社」といいます。）、岡野陽一氏、森田吉和氏、赤星祐二氏、及び増田博美氏その他関係者との間の資本関係、人的関係、又は取引関係その他の関係（第三者を介した関係も含みます。）の有無及びこれらの関係がある場合にはその内容（第三者を介した関係がある場合には、当該第三者の名称又は氏名、所属等も含みます。）について具体的にご教示ください。

- (2) 貴社と Synca 社との間で、当社株式の取得若しくは譲渡、当社株主としての議決権その他の権利の行使、又は当社の経営方針・資本政策に関する方針等について、協議その他の意思連絡をした事実の有無、これがある場合にはその日時、経緯及び内容について具体的にご教示ください。
- (3) Synca 社の 2026 年 4 月 23 日付「株主提案書」（以下「Synca 社株主提案書」といいます。）において当社取締役候補として挙げられた孫氏について、以下の各事項を具体的にご教示ください。
 - ① Synca 社株主提案書において当社の役員候補者とされた経緯（Synca 社からの打診又は貴社からの推薦の有無、これがある場合にはその日時、経緯及び打診・推薦の理由を含みます。）
 - ② Synca 社の株主提案の候補者として就任を承諾した事実の有無、これがある場合にはその日時及び経緯
 - ③ 貴社が孫氏に関して提供した情報の内容
- (4) 当社が、本特定株主ら宛に、2026 年 5 月 20 日付「当社株式の大量買付行為への対応方針（買収への対応方針）及び金融商品取引法上の大量保有報告規制の遵守状況についてのご質問」を送付した事実について、貴社又は貴社の関係者が赤星祐二氏に伝えたことがあるか、及びこれがある場合にはその日時及び経緯について具体的にご教示ください。

5. 貴社グループとアジア開発キャピタル及び Happy Horse 社の関係について

- (1) 貴社は、2026 年 5 月 8 日の取締役会決議により、デジタルアセット証券株式会社（旧・ワンアジア証券株式会社。以下「デジタルアセット証券」といいます。）の株式 172,750,000 株（99.7%）を取得した旨を公表しております。デジタルアセット証券については、貴社の元大株主であるアジア開発キャピタル株式会社（以下「アジア開発キャピタル」といいます。）がデジタルアセット証券の株式合計 172,750,000 株（99.7%）を 2026 年 2 月 28 日及び 2026 年 5 月 7 日に総額 14 億 8,999 万円で OMO 株式会社（以下「OMO 社」といいます。）及び PCK キャピタル有限責任事業組合に譲渡しているところ、その後、極めて短期間のうちに貴社が OMO 社から 14 億 9,000 万円で当該株式の全部を譲り受けるに至った経緯、貴社とアジア開発キャピタル、OMO 社及び PCK キャピタル有限責任事業組合との協議の内容について具体的にご教示ください。
- (2) (1)に関連して、貴社グループとアジア開発キャピタルグループとの間の現在の資本関係、人的関係、又は取引関係その他の関係（貴社の元大株主であり、アジア開発キャピタルの元代表取締役であるアンセムウォン シュウセン氏を含む第三者を介した関係も含みます。）の有無及びこれらの関係がある場合にはその内容（第三者を介した関係がある場合には、当該第三者の名称又は氏名、所属等も含みます。）について具体的にご教示ください。
- (3) 当社の大株主である合同会社 Happy Horse（以下「Happy Horse 社」といいます。）について、株式会社地域新聞社のウェブサイトに掲載されている Happy Horse 社の 2025 年 11 月 21 日付「回答書」には、貴社の子会社であるデジタルアセット証券が Happy Horse 社の主要な取引先であるとの記載が

ございますが、デジタルアセット証券と Happy Horse 社との間の取引の内容及び金額規模について具体的にご教示ください。また、それ以外に貴社グループと Happy Horse 社との間の資本関係、人的関係、又は取引関係その他の関係（デジタルアセット証券を含む第三者を介した関係も含みます。）の有無及びこれがある場合にはその内容（第三者を介した関係がある場合には、当該第三者の名称又は氏名、所属等も含みます。）について具体的にご教示ください。

(別紙2) Blue Goats Capital 株式会社に対する質問書

2026年7月17日

〒104-0061

東京都中央区銀座 1-12-4 N&EBLD. 6F

Blue Goats Capital 株式会社

代表取締役 青柳 和洋 様

〒206-0011

東京都多摩市関戸 2-24-27

三ツ木聖蹟桜ヶ丘ビル 5 階

ムラキ株式会社 独立委員会

委員長 湊 信 明

委員 川 口 幸 信

委員 立 山 純 子

質 問 書

前略 当社独立委員会（以下「当委員会」といいます。）は、当社取締役会の諮問を受け、株式会社イクヨ（以下「イクヨ社」といいます。）及びBlue Goats Capital 株式会社（以下「貴社」又は「BGC 社」といい、イクヨ社と BGC 社を併せて「本特定株主ら」といいます。）によって、当社が 2025 年 4 月 25 日開催の当社取締役会においてその導入を決議し、同年 6 月 20 日開催の当社第 67 回定時株主総会で承認された「当社株式の大量買付行為への対応方針（買収への対応方針）」（以下「本買収対応方針」といいます。）に定める「当該特定の保有者と当該他の保有者との間にその一方が他方を実質的に支配もしくはそれらの者が共同ないし協調して行動する関係を樹立するあらゆる行為（ただし、当社が発行者である株券等につき当該特定の保有者と当該他の保有者の株券等保有割合の合計が 20%以上になるような場合に限り。）であると合理的に判断される行為」が行われていると認定することの是非について検討しておりますが（以下、かかる検討を「本検討」といいます。）、本検討の参考とするため、下記の事項についてご回答いただきますようお願い申し上げます。本検討を速やかに進めるため、2026 年 7 月 27 日までにご回答ください。

なお、以下の点についてあらかじめご了承ください。

- (1) 当委員会は本検討を継続しており、今後、追加のご質問が生じる可能性があり、又はご回答いただいた内容に対して更にご質問をさせていただく可能性がございます。
- (2) 定量的な観点から回答が可能な質問については、可能な限り具体的な数値を用いてご回答ください。
- (3) 「●●グループ」とは、当該会社、並びに、当該会社の国内外の主要な株主又は出資者（直接である

か又は間接であるかを問いません。)、子会社・関連会社、共同保有者・特別関係者を含み、該当する者がファンドの場合には、その各組員、出資者その他の構成員及び投資に関する助言を継続的に行っている者を含みます。

(4) 本書に対するご回答は公表させていただく可能性がございます。

記

1. 貴社グループの詳細について

貴社グループ（貴社代表取締役青柳和洋氏（以下「青柳氏」といいます。）が役員を務め、又は務めていたイグニッション・ポイント株式会社、株式会社 Secual、Blue Goats Asset Management 合同会社、株式会社 Pontely、株式会社 DANX、株式会社 シナプス、株式会社 REaaS Technologies、Senxeed Robotics 株式会社（以下「Senxeed Robotics 社」といいます。）、株式会社 it's House、ORKA ホールディングス株式会社、Trailhead Global Holdings 株式会社、及びコーギア株式会社を含みます。以下同じです。）各社について、以下の各事項をそれぞれ具体的にご教示ください。

- ① 具体的名称
- ② 資本構成・出資割合
- ③ 業務内容（子会社・関連会社に該当しない重要な出資先が存在する場合には、当該出資先の事業・当該出資先との関係を含みます。）
- ④ 財務内容（貸借対照表及び損益計算書の内容等）
- ⑤ 投資方針の詳細、過去 10 年間における投資（M&A）活動の詳細
- ⑥ 当社の事業と同種の事業についての経験等に関する情報
- ⑦ 過去 10 年間における法令違反行為の有無（及びそれが存する場合にはその概要）
- ⑧ 当社の株式又は当社若しくは当社グループの事業に関連する資産を原資産とするデリバティブその他の金融派生商品の保有状況及び契約状況、並びに当社の株式等の貸株、借株及び空売り等の状況

2. 貴社グループとイクヨ社グループの関係について

(1) 青柳氏が設立し、2023 年 8 月まで代表取締役を務め、現在も取締役を務める Senxeed Robotics 社は、2026 年 4 月 22 日付で、イクヨ社との間でのロボット事業における包括的業務提携を公表しておりますが、当該業務提携に関し、以下の点について具体的にご教示ください。

- ① Senxeed Robotics 社に対してイクヨ社を紹介し、又はイクヨ社に Senxeed Robotics 社を紹介した人物又は法人
- ② 業務提携に係る協議を開始するに至った経緯・開始時期
- ③ 業務提携の締結に至った経緯

- ④ 業務提携の概要及び当該業務提携と当社の事業の関係
 - ⑤ 業務提携に関する青柳氏とイクヨ社との間の協議の有無及び内容
- (2) (1)のほかに、貴社グループ又はその役職員（青柳氏を含みます。）とイクヨ社グループ又はその役職員との間の資本関係、人的関係、又は取引関係その他の関係（貴社グループの現在又は過去の役職員又は株主その他の第三者を介した関係も含みます。）の有無及びこれらの関係がある場合にはその内容（第三者を介した関係がある場合には、当該第三者の名称又は氏名、所属等も含みます。）について具体的にご教示ください。
- (3) 貴社及び青柳氏が、イクヨ社グループ又はイクヨ社の代表取締役である孫峰氏（以下「孫氏」といいます。）と初めて直接又は間接に接触（電子メール、電話会議、オンライン会議その他の方法を含みます。）した時期、接触の方法、接触した当事者の氏名・役職、接触の目的及び接触時の具体的なやり取りの内容をご教示ください。また、その際に、紹介者、仲介者、同席者、情報提供者その他の第三者が存在した場合には、当該第三者の氏名又は名称、所属、役職、貴社又は青柳氏との関係、イクヨ社グループ又は孫氏との関係、紹介又は仲介の経緯及び内容について具体的にご教示ください。
- (4) イクヨ社の2026年5月28日付書簡によれば、貴社は、2026年4月中旬にイクヨ社に対し、当社の企業価値向上のためには経営体制の刷新が不可欠と考えていること、及び、その実現には自動車部品分野で実績のあるイクヨ社の経営陣を取締役候補者として招聘することが有益であると考えていることについて連絡をし、イクヨ社と話し合いの機会を持った（以下「本協議」といいます。）とのことですが、イクヨ社に当該連絡をした日時及び連絡手段、当該連絡に係る貴社の担当者及びイクヨ社の連絡受領者、並びにイクヨ社の応答時のやり取りについて具体的にご教示ください。
- (5) 本協議の内容について具体的にご教示ください（例えば、当社の企業価値向上施策、貴社の2026年4月23日付「株主提案書」（以下「BGC株主提案書」といいます。）若しくはイクヨ社の2026年4月21日付「イクヨ提案書」（以下「イクヨ社議案提案書」といいます。）の内容、当社株式の取得若しくは譲渡、当社株主としての議決権その他の権利の行使、又は当社の経営方針・資本政策に関する方針等について協議された事実があれば、それぞれについて具体的にご教示ください。）。)
- (6) 貴社による2026年4月27日付PR TIMESでの公表文「Blue Goats Capital、ムラキ（7477）へ株主提案。成長戦略への転換と資本効率向上を提言」には、「株式会社イクヨとの連携でモビリティ変革」、「株式会社イクヨの経営陣を招聘」等といったイクヨ社に関する記載が含まれておりますが、イクヨ社が公表前に当該記事の内容・文案の確認を行った事実の有無、これがある場合にはその日時、経緯及び内容、並びに、当該記事に記載の「連携」についてイクヨ社と協議を行った事実の有無、これがある場合にはその日時、経緯及び内容について具体的にご教示ください。
- (7) 貴社が当社株主宛に送付した2026年6月2日付「ムラキ株式会社第68回定時株主総会における会社提案議案への対応及び経営刷新提案に関する委任状勧誘のお願い」には、孫氏及び田嶋邦彦氏（以下「田嶋氏」といいます。）を当社取締役候補者とする修正動議を提出する予定であること、孫氏が

当社とイクヨ社との事業シナジー実現を主導する役割を担い、田嶋氏が当社との実務的な連携を推進すること、貴社の想定する当社とイクヨ社との事業シナジーの具体的な内容の記載がございますが、これらの記載内容・文案について、イクヨ社が事前に確認を行った事実の有無、これがある場合にはその日時、経緯及び内容について具体的にご教示ください。

- (8) BGC 社株主提案書に当社役員候補として挙げられた孫氏、田嶋氏、松本博氏、東剛史氏、高橋理沙氏、岩瀬誠氏、及び小林信虹氏について、それぞれ以下の各事項を具体的にご教示ください。
- ① BGC 社株主提案書において、当社の役員候補者とされた経緯（貴社からの打診又はイクヨ社からの推薦の有無、これがある場合にはその日時、経緯及び打診・推薦の理由を含みます。）
 - ② 貴社の株主提案の候補者として就任を承諾した事実の有無、これがある場合にはその日時及び経緯
 - ③ 貴社が上記の役員候補者に関してイクヨ社から提供を受けた情報の内容

3. 貴社による当社株式の取得について

- (1) 貴社が当社株式 70,000 株を取得した日時及び取得の方法（市場内取引か市場外取引か、市場外取引である場合には譲渡人の名称又は氏名等）について具体的にご教示ください。
- (2) 貴社が当社株式 70,000 株の取得に関する検討を開始した時期及びその経緯、紹介者又は仲介者の有無、並びに紹介者又は仲介者がいる場合にはその名称若しくは氏名及び所属等について具体的にご教示ください。
- (3) 貴社グループと芙蓉土地建物株式会社、GCM アセットマネジメント株式会社、MRK1 号投資事業有限責任組合（以下「MRK1 号」といいます。）、合同会社 CYGNUS、一般社団法人 SPE、及び江木洋介氏その他関係者（前各社の役職員を含みます。）との間の資本関係、人的関係、取引関係その他の関係（第三者を介した関係も含みます。）の有無及びこれらの関係がある場合にはその内容（第三者を介した関係がある場合には、当該第三者の名称又は氏名、所属等）について具体的にご教示ください。
- (4) 貴社は 2025 年 3 月には当社株式 70,000 株を取得していたところ、貴社の個別株主通知上は 2026 年 1 月 15 日に 70,000 株の増加が記録されています。当該 2026 年 1 月 15 日の増加が、既に取得済みの 70,000 株の口座移管又は管理口座の変更によるものであるかどうか、及び、そうである場合には移管の目的又は理由、そうでない場合には上記記録がなされた経緯について具体的にご教示ください。
- (5) 貴社による 2026 年 6 月 29 日付 PRTIMES での公表文「Blue Goats Capital、ムラキ株式会社株式に関する当社保有方針の見直しを決定」によれば、貴社は、2026 年 4 月 9 日に当社株式 33,100 株を追加取得するに先立ち、第三者から当社株式の譲渡に関し相談を受けていたとのことですが、当該第三者の名称又は氏名、相談を受けた日時、相談内容、貴社における当該株式の譲渡に関する検討内容についてご教示ください。

4. 貴社による当社株式の譲渡について

- (1) 貴社が2026年7月2日に市場外で当社株式30,000株を1株2,400円で譲渡した件について、譲渡先の名称、氏名等をご教示ください。
- (2) 貴社と当該譲渡先との資本関係、人的関係、又は取引関係その他の関係（第三者を介した関係も含みます。）の有無及びこれらの関係がある場合にはその内容（第三者を介した関係がある場合には、当該第三者の名称又は氏名、所属等）についてご教示ください。
- (3) 貴社が当該譲渡先に対し当社株式を譲渡することとなった理由、経緯、及び交渉過程（譲渡先への説明内容、価格設定の理由を含みます。）についてご教示ください。
- (4) 貴社が7月2日時点で保有していた当社株式73,100株の処分の方針について、処分の時期、処分の方法（市場の内外を含む。）、第三者との交渉の状況についてご教示ください。

5. BGC社株主提案書について

- (1) BGC社株主提案書の内容は、イクヨ社議案提案書の内容と類似しておりますが、貴社が、イクヨ社に対し、BGC社株主提案書の内容・文案を共有した事実の有無及びこれがある場合にはその時期及び経緯をご教示ください。また、イクヨ社が、貴社に対し、イクヨ社議案提案書の内容・文案を共有した事実の有無及びこれがある場合にはその時期及び経緯をご教示ください。
- (2) BGC社株主提案書では、本買収対応方針の導入後に当社株式の流動性が低下している旨の記載がありますが、当該主張の根拠となるデータをご教示ください。

6. 貴社グループと合同会社Syncaの関係について

- (1) 貴社グループ又はその役員と、合同会社Synca（以下「Synca社」といいます。）、岡野陽一氏、森田吉和氏、赤星祐二氏、及び増田博美氏その他関係者との間の資本関係、人的関係、又は取引関係その他の関係の有無（貴社以外の貴社グループ構成員との関係や第三者を介した関係も含みます。）の有無及びこれがある場合にはその内容（第三者を介した関係がある場合には、当該第三者の名称又は氏名、所属等も含みます。）について具体的にご教示ください。
- (2) 貴社とSynca社との間で、当社株式の取得若しくは譲渡、当社株主としての議決権その他の権利の行使、又は当社の経営方針・資本政策に関する方針等について協議その他の意思連絡をした事実の有無、これがある場合にはその日時、経緯及び内容について具体的にご教示ください。
- (3) 当社が、本特定株主ら宛に、2026年5月20日付「当社株式の大量買付行為への対応方針（買収への対応方針）及び金融商品取引法上の大量保有報告規制の遵守状況についてのご質問」を送付した事実について、貴社又は貴社の関係者が赤星祐二氏に伝えたことがあるか、及びこれがある場合にはその日時及び経緯について具体的にご教示ください。

草々